

ふくいの農ある風景 フォトコンテスト

～心に響く、ふくいの農村風景～

農村地域は、国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全や景観形成など多様な側面を持っています。

県では、福井の農村を通してこうした役割を多くの人に知ってもらうため、「ふくいの農ある風景フォトコンテスト」を令和元年度から実施しています。農村の暮らしや文化など人の営みを感じられる風景の写真を募集し、応募作品はホームページやInstagramに掲載するほか、県内各地で巡回展を開催しています。



Instagram

第2回コンテスト入賞作品(抜粋)



最優秀賞「棚田の春」



入選「田んぼと星空」



入選「田植え始まる」

第3回コンテストは8月募集開始予定!

写真部門とInstagram部門の2部門で募集します。詳細は決まり次第募集ページでお知らせします。多くの方のご参加をお待ちしています。



募集ページ

☎ 農村振興課 ☎ 0776-20-0453 ☎ 0776-20-0656



① 農遊コンシェルジュにより若狭町で開催された梅収穫体験 ② 勝山市で開催された農遊ハイキング ③ イチゴ摘み取り用ハウス

☎ 中山間農業・畜産課
☎ 0776-20-0418 ☎ 0776-20-0651

☎ 流通販売課
☎ 0776-20-0421 ☎ 0776-20-0649

特集① ふくいの農村の魅力を発信



“農遊”でふくいを遊び回ろう!

農業は農作物の生産・販売といった産業の面だけでなく、景観の保全や地域振興などさまざまな側面での活用が可能です。福井県の農村は、市街地と距離が近いという特徴があります。北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通といったビッグイベントを控え、この特徴を生かして、県では農村部に人を呼び込む「農遊」の取り組みを進めています。

農を体感できるコンテンツを 回遊する新しいツーリズム

「農遊」とは、福井の農村を遊びながら回遊してもらいたいという願いを込めて、県が作った造語です。具体的には、道の駅などの大型直売所を拠点として農園やレストラン、宿泊施設など農村を体感するコンテンツをつなげるツーリズムのことで、県内を訪れる旅行者などに観光地だけでなく農村にも足を運んでもらい、交流人口増加と農家の所得向上につながるのが狙いです。

県内を訪れる方たちに対して、地域の食文化や特産物の歴史・特徴、近隣の立ち寄りスポットなどを魅力的に伝えられるコンシェルジュを育成し



観光農園
「若狭美浜 HAMABERRY
～いちごの郷 みはま～」

このほか、農家民宿や農家レストランを始める方を対象とした研修や体験プログラムなどの考案・実施のサポートを行い、魅力的なコンテンツ作りを

ようと、県は昨年度から育成講座を県内6地区で開催しており、すでに114名のコンシェルジュが誕生しています。認定者は目印のオリジナルTシャツやバッジを付け、案内役として各地で活躍しています。今年度も講座を開催しており、65名が受講中です。

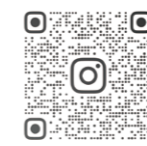
県内の各エリアでは、コンシェルジュたちが連携してイベントや商品開発を行っています。県も積極的に支援しています。これらの情報は農遊専用のSNSで発信していきます。



農遊コンシェルジュの
ロゴマーク



Facebook



NOUYUFUKUI
Instagram

新たな回遊先コンテンツの整備

新たな回遊先となる施設の整備も支援しています。昨年度は美浜町にイチゴの観光農園が誕生しました。

進めていきます。さらに、農作物などの直売所施設整備や直売所間の商品の相互輸送ネットワークを構築する経費についても支援し、「農遊」の魅力アップを図っていきます。

県では今後も県内の農村や周辺施設の魅力向上を図るとともに、より多くの人にその魅力を伝えて、福井の農村部におけるさらなる交流人口拡大を目指していきます。

知事メッセージ みなさんと一緒に

農は福井の基なり 農の力でより多くの人に 福井をPRしていきます

農村においてこれまで蓄積された知識や技術、受け継がれた文化や景観などを大切に、次世代に引き継いでいくとともに、その魅力を福井の発信に最大限活用していきます。



知事 杉本 達治